

9月定例会

平成28年度海老名市一般会計補
正予算(第3号・第4号)を可決

今回の補正予算は、平成28年度の国庫補助金を活用し、市道53号線バイパスの整備を前倒しで実施することや、老朽化した下今泉保育園の建て替え、震災および大規模災害時の支援物資集積場所の確保などの内容で上程され、本会議4日目に賛成多数により原案可決されました。また、最終日には市庁舎外壁などの大規模改修を実施するための債務負担行為が上程され、全員賛成により原案可決されました。

総務常任委員会

〈主な質疑〉

問 大型防災備蓄倉庫整備事業費について、施設用地は今後購入する形ですか。また、周辺の道路インフラの整備はされていますか。

答 施設用地を今回購入したいと考えています。また、周辺道路はバスが運行されており、十分大型車の進入は可能です。また、敷地内で大型車が数台転回するなど出入りできるように計画しています。

問 シティプロモーション推進事業について、市の魅力を外部に発信する写真集や冊子、配布場所などはどこを想定して作成していますか。また、今後の展望についてはいかがですか。

答 市外の方に本市を知っていただくため、本市の顔となる海老名駅を中心とした周辺施設に加え、市内のバス会社や大型店舗にも配布を依頼したいと思っています。今後でもできれば継続的に続けていきたいと思っています。

意見

・大型防災備蓄倉庫整備事業については、周

文教社会常任委員会

〈主な質疑〉

辺市民への丁寧な説明とともに、災害対策の拠点として、早期整備を望みます。

・シティプロモーション推進事業では、写真集や情報誌などの作成について、今後の活用方法も考えて進めていただくことを期待します。

問 障がい者自立支援事業費の障がい者就労への要望と問題点、障がい児療育事業所の連絡会の内容について伺います。

答 障がい者就労については、えびな支援学校高等部卒業後の進路の選択肢を増やして欲しいとの要望があります。受け入れ先企業の障がい特性への理解を深めることが課題です。療育事業所は9か所あり、昨年11月に連絡会を発足しました。障がい児の細かい状況にも調整の話し合いができます。

問 下今泉保育園整備事業について、定員はどのようになりますか。

意見

答 新たな建て替えによって90名から120名定員の施設にしたいと考えています。

・放課後等デイサービスの事業については、教育委員会と連携して、必要な子どもが受けられるような環境を整えてほしい。

・下今泉保育園の老朽化に伴う建て替えについては、工事期間中に事故や怪我が起きないよう、園児や保護者、関係者に対して十分な安全確保がされるよう望むとの意見があった一方で、建て替え後には指定管理者制度を導入することに対して反対であるとの意見もありました。

経済建設常任委員会

〈主な質疑〉

問 にぎわい振興事業について、具体的にどのような事業を行うのですか。

答 詳細内容は検討の必要があると考えていますが、現時点では今まで行っていた回遊ツアーに、婚活の要素を取り入れたツアーを想定しています。

問 海老名駅西口道路整備事業費について、補正によってどの程度進捗するのですか。

答 8月末時点で買収面積の取得率が53パーセントでしたが、補正予算によって今年度末で62パーセントまで進捗する見込みです。

意見

・にぎわい振興事業について、今回のツアーもコンセプトに応じた工夫がなされ、過去2回と同様、多くの応募が寄せられることを期待します。

・海老名駅西口道路整備について、進捗状況を踏まえ、用地確保に向けた地権者への交渉に慎重な対応がされることを期待します。

副市長に畑めぐみ氏を選任

本会議最終日、伊藤龍紀副市長退任（28年9月30日）により、畑めぐみ氏を新たに副市長に選任することについて、賛成多数により同意しました。



意見書2案を可決

本会議最終日、2つの意見書案が上程されました。

「義務教育に係る国の財源確保と教育の機会均等と水準の維持・向上を求める意見書」では①義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること②30人を学級編成の標準規模となるよう法律の改正を図ることなどを要望しました。

「原発事故被害者の救済施策を継続することを求める意見書」では①原発事故避難者の無償住宅支援の継続②早期の避難指示解除と賠償の打ち切り方針の撤回などを要望しました。

どちらの意見書も全員賛成により原案可決しました。